

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報おおづ

4
APRIL 2020



Public relations
OZU TOWN

広報おおづ 2020 4

発行・編集 大津市 総務課
〒869-1292 熊本市東区大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293) 3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

印刷 印刷株式会社
〒869-1292 熊本市東区大津町大字大津 1233 番地

見やうく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
FONT を採用しています。

clozu-up
Ozu-jin
クローズアップ 大津人



競技用車いすで走る中尾さん。風の抵抗を少なくするために上体を低くしている。



「支えてくれた人に
見てもらいたい」

なか お ありさ
中尾 有沙 さん

2020 東京オリンピック・パラリンピックの聖火ランナーを務める中尾有沙さんをクローズアップする。

聖火ランナーの話がきたとき、自身もパラリンピック出場を目指す立場として、話を受けていいものか考えた。決断させたのは、立野の地を走り、家族やお世話になってきた人たちに覚えてもらいたいという思いだ。

陸上選手として日本一や県大会10連覇など華々しい成績を収めてきた中尾さん。練習中の事故によりけがを負ってしまっただけで、深く落ち込むことなく1年3カ月で復帰。もちろんすぐに気持ちを切り替えられたわけではなく、「たとえ跳べなくても陸上とつながっていた」という思いが再びグラウンドに呼び戻した。三段跳び・走り幅跳びから車いす競技への転向。初めはうまくいかないのも当然だった。「トレーニングにより上半身が大きくなることにも抵抗があった」と笑顔で振り返る。好きな言葉は、パラリンピックの理念でもある「ルトヴィヒ・グットマンの『失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ』」。この言葉は障害のあるなしに関わらず前向きに生きることの大切さを教えてくれます。中学生の時は、試合でうまくいかないと何でも練習しなかったんだらうと後悔していたが、現在は前向きに、何をしなければならぬかを考えるようになった。

休みの日は行きつけの店で買った豆でコーヒを淹れ、ゆっくりと過ごすのが好きな中尾さん。今後の目標を聞くと「もともとオリンピックやパラリンピックを目指していたというよりも、1日1日を大切に練習したいタイプ。競技だけでなく、家族や新しい出会いを大切にしたい」と話す。車いすで生活するようになり、多くの人と出会い、人の思いやりをより感じる事ができるようになった。支えてきてくれた人への感謝を胸に走り抜ける。

つづきの声

▼新型コロナウイルスの関係でイベントなども中止になり、残念な思いをされている人も多いと思います。私もその一人です。最近の悩みはマスクが底をつきそうなこと、鼻息が荒いのかマスクをつけてるとメガネが曇ってしまうことです。(暁)

▼新型コロナウイルスの影響で、一時的にトレットペーパーが店頭から無くなる問題が起きました。すぐにSNSでデマが拡散されたものだと分かりましたが、不安をおおるような情報は災害が起こるたびにあり、感じます。情報を簡単に得られる時代ですが、一つの情報をうのみにしないで、何が正しいかを見極める必要があると思います。(H.N.)

からいもくん便り
大津市総合情報メール
携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。
QRコード
登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。

今月のみどころ
巻頭記事
新型コロナウイルス感染症
利子補給などの支援策

今月の表紙

高尾野地区で行われた熊本地震の被災地を自転車で行くラファキャラバン。高尾野区みんなの家を出発する参加者を見送る地区の皆さん。(記事は16頁)

